



明けましておめでとございます。

御一家あげて賑々しく新年を寿かれましたことと拝察します。旧年中はあさがおに對しましてご懇切な御支援、ご指導を賜り有難うございました。本年も倍旧のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

あさがおは平成十七年二月一日発足以来、三年の歳月が過ぎようとしています。高齢者、障がい者の権利擁護と虐待防止を目的として啓発活動、相談活動、法人後見活動など幅広く行ってまいり一定の成果があったと自負しております。また昨年末には相談員を一名増員しサービスの充実を図りましたが、これらことは住民の方々のご理解のもと地方財政逼迫のなか御支援を戴きました大津市、滋賀県のおかげと深謝いたします。



明けましておめでとございます。

一事務局に入りまして9か月が経ちました

今年の干支は子、一番のりです。一番のりは、良いことのようにですが…大変な事もあります。

あさがおは法人後見事業者の先駆けであり、一番のりグループの中に入っています。悩みの種は、後見人が日常行っている身上監護の範囲が明確になっていないことです。このグループの首には無間が山積みされた細い道があります。この無間を解決しないことには広い道が出来ないのです。そこでこの問題解決のため私たちのメンバーが、全国レベルの学会に調査研究の一員として参加し頑張っています。

後見制度の利用者がどんどん増加している今日、国において的確な評価が出来ない様なシステムが構築されるよう、関係者のご努力とシステム早期完成を期待するものです。

さて、あさがおは、設立されて4年目に入ります。被後見人の数も60人を突破し、相談員2人では対応出来ないことから12月に1人増員いたしました。それでも新しい相談が毎日のように入り、その対応に追われています。今年は、後見活動の質の向上・維持と受任可能数、安定的な経営基盤(現在、滋賀県及び大津市のご支援をいただいている)の確立を目指して、職員が一点となって頑張っておりますので宜しくお願い申し上げます。(じゅん)

成年後見事業は介護保険事業と同時に発足しました。その申立件数は初年度七四五一件に過ぎなかったのが平成十八年度は三二六一八件と四・四倍の伸びを示しています。法人による後見は未だに少ないものの平成十七年度は一七八件、同十八年度は三七七件(うちあさがおは六六件十七・五%)と昨今急増しており今後とも加速すると思われれます。

あさがおは事業の展開に当って「私達に何が出来るか」ではなく「人々は何を必要としているか」というピープルセンタードの視点で今後とも頑張っていきたいと思っています。なにとぞ御理解、御支援を重ねてお願いし新年の御挨拶といたします。



◇地域支援員養成基礎講座 終了いたしました◇

7月18日のトーク&ライブに始まったあさがおの地域支援員基礎講座も、12回の講義と2回の現場実習を行って12月5日に無事終了しました。

権利擁護のこと、人との面接やその人を知ることの意味などを学んでいただき、最終的に11名の方々に専任証書をお渡しすることができました。

来年は、基礎講座に加えて専門講座の開催も予定しています。是非、たくさんの方々に受講していただきたいと思ひます。





## 後見活動日記

Qさんは、お母さんが亡くなられた後は一人暮らしでした。御近所の方々に支えられ見守ってもらって自宅での生活を続けることができていました。

Qさんはとても几帳面で、手先が大変器用で、通い続けている作業所でも頑張って作業をしていました。Qさんの器用さは生活の所々に見られました。例えば、取れた長靴もタイヤの修理用のゴムで直して野良仕事に履いていました。先日自宅を訪問すると、自慢の長靴を履いて山の草刈りをしていました。Qさんは草刈が上手く、また草刈鎌を研ぐのも得意で、ひかひかに磨いた草刈鎌を自慢気に見せてくれます。事情があつて毎日作業所に通えなくなり、週2回のヘルパーさんと作業所に通うのをいつも心待ちにしていました。自宅から向かいの山を見つめながら、作業所の迎えやヘルパーさんを守っていました。

今年の夏は大変暑く、熱中症で倒れた人が多くありました。Qさんも、一夏で3回も熱中症で倒れました。暑い日中も休憩を取らず水分も取らずに草刈をしていたようです。「これに茶を入れて飲むんやー」と言っってペットボトルを見せてくれますが、実際は草刈に夢中になり水分補給を忘れていたようでした。もし毎日作業所に通えていたならば、脱水症にならずに済んだ気がしました。

Qさんは、「いつまでもここで暮らしたい。仲間と楽しく話しながら暮らしたい。作業所に毎日通いたい。」という思いがありました。六五歳になっ

たQさんは障害福祉制度を利用していたのですが、介護保険制度が優先されることになりました。Qさんには様々な職種の人や行政の支援者が関わっていました。支援会議で何度が話し合い相談した結果、介護保険制度の小規模多機能施設利用と自立支援で授産事業の併用を認めてもらうことができました。これで、『作業所



にも通いながら安心して自宅での生活が継続する」というQさんの願いも叶うと思います。以前から作業所通所や仲間とのことを望んでいたQさんは、「いつ見に行くんやろうな」と心待ちにしてくれています。

しみじみと山を眺めるQさんが住み慣れたこの地で少しでも住みつけられるように、支援者と相談し後見事務を遂行していきたいと思えます。(くらら)

## 本の紹介



『身体知と言語  
対人援助技術を鍛える』  
奥川幸子／著  
中央法規出版



『「尊厳死」に尊厳はあるか  
ある呼吸器外し事件から』  
中島みち／著  
岩波新書



## 編集後記

改めまして、あけましておめでとございます。寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年のあさがおは、スタッフが増員されたり、新たな利用者の方にご利用いただくようになったりと、色々な出会いと共に行いました。一方では、悲しいお別れも経験しました。

今年はずっと皆さんの喜ばしい出会いがありますように願いつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。(坊)

まづしくども

平和がよしと

日記始め

加藤風信旗

\*\*\*会員募集しています\*\*\*

私たちの活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人 入会金 1,000円 年会費 5,000円  
団体 入会金 10,000円 年会費 50,000円

お問い合わせは 077-522-0799 まで。